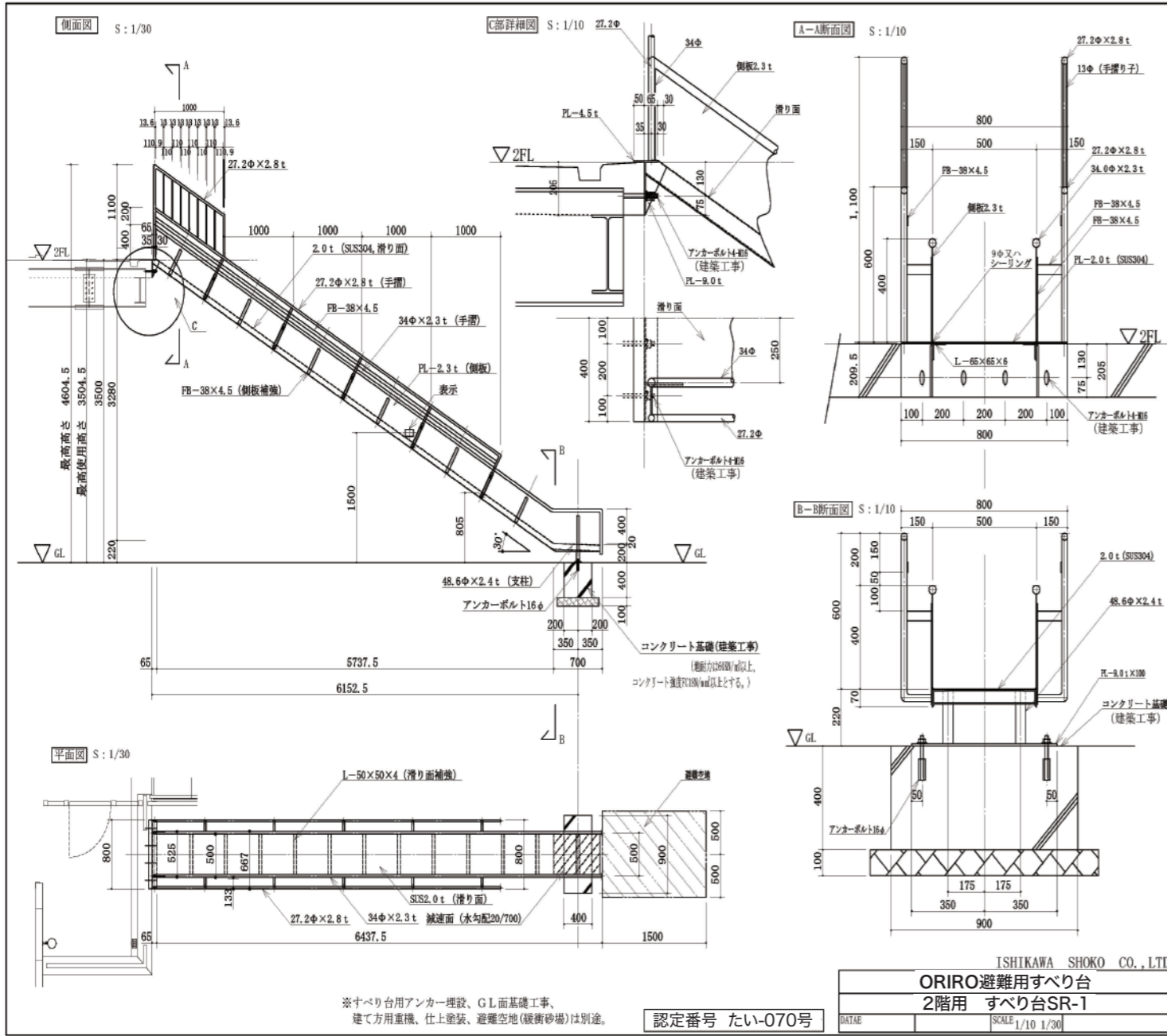


参考図



ORIRO すべり台直線式



お問い合わせは……

ORIRO オリロー株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山 4-25-6
 URL: <https://www.oriro.co.jp> e-mail: oriro@oriro.co.jp

- | | | |
|---------|-----------|---|
| 札幌支店 | 〒060-0008 | 北海道札幌市中央区北8条西24-1-3
TEL. 011-640-7744 FAX. 011-615-8299 |
| 東北支店 | 〒983-0043 | 宮城県仙台市宮城野区秋野町1-16-6
TEL. 022-208-7744 FAX. 022-208-7747 |
| 北関東支店 | 〒350-2201 | 埼玉県鶴ヶ島市富士見4-28-35 アークパレス1F
TEL. 049-279-7744 FAX. 049-279-7745 |
| 東京支店 | 〒112-0001 | 東京都文京区白山4-25-6
TEL. 03-3814-7744 FAX. 03-3813-2909 |
| 横浜支店 | 〒232-0061 | 神奈川県横浜市南区大岡2-17-24
TEL. 045-277-7744 FAX. 045-277-7745 |
| 名古屋支店 | 〒454-0921 | 愛知県名古屋市中川区中郷3-383
TEL. 052-352-7744 FAX. 052-352-7775 |
| 大阪支店 | 〒552-0007 | 大阪府大阪市港区弁天2-14-24
TEL. 06-6572-7744 FAX. 06-6574-2994 |
| 九州支店 | 〒815-0031 | 福岡県福岡市南区清水3-9-21
TEL. 092-551-7744 FAX. 092-511-6555 |
| 新潟営業所 | 〒959-0227 | 新潟県燕市粟生津山王724
TEL. 0256-92-7744 FAX. 0256-92-4949 |
| 千葉営業所 | 〒273-0033 | 千葉県船橋市本郷町421-2 大塚ビル1F
TEL. 047-311-4470 FAX. 047-311-4474 |
| メンテナンス部 | 〒112-0001 | 東京都文京区白山5-1-3-7F
TEL. 03-3815-7744 FAX. 03-3815-7745 |

●本製品は予告なく変更することがあります



2023.10 改訂版



一般財団法人日本消防設備安全センター
 認定番号 たいー070号(スチール製)滑り面のみステンレス製(SR-1)
 たいー262号(オールステンレス製)(SR-2)

緊急時に慌てる必要のない お子様や高齢者の方にも安心

避難用すべり台

認定番号
SR-1：たいー070号(スチール製)滑り面のみステンレス製
SR-2：たいー262号(オールステンレス製)

SR-1



SR-2



避難用すべり台の特長

1.豊富な採用実績

弊社のオリローすべり台はコストパフォーマンスに優れ、多くの採用実績を持っています。

2.あらゆる建物に設置できます

病院や学校、幼稚園、保育園、老人ホーム、福祉センターなど、さまざまな建物に設置できます。小さなお子様から高齢の方まで安心してご利用頂けます。

3.なじみのあるすべり台

誰にでもなじみのあるすべり台。乗れば自然に降下できます。

4.待つ必要性はなし

少ない時間に、大勢の方が避難できます。

5.迷うことなくスムーズに使用

非常の際は思わぬ精神状態になるものですが、固定式なので設置場所が頭に入っており安心です。緊急時にも慌てずにご利用頂ける常設タイプで高い評価を頂いております。

6.美しく洗練されたスタイル

洗練されたデザイン感覚の避難用すべり台は、どんな建物にもマッチし、美観をさらに高めます。

7.価格

全てが別注製作となりますので価格はお問い合わせください。

	設置位置			
	開口部の大きさ	操作面積	降下空間	避難空地
滑り台	高さ 0.8m以上かつ幅は滑り台のすべり面の最大幅以上とする。 開口部の下端は床面から1.2m以下とすること。 ただし、避難上支障ないように固定又は半固定のステップ等を設けた場合はこの限りでない。	滑り台の大きさ、形状に応じた操作に必要な面積	<p>0.2m以上 0.2m以上 1.0m以上 1.0m以上</p> <p>滑り面から上方1m以上、両端から外方向に0.2m以上</p>	<p>0.5m以上 0.5m以上 1.5m以上</p> <p>滑り台下部の先端から前方1.5m、滑り台の中心線から左右に0.5m以上</p>
備考	避難空地は、滑り台の手すり部分の外側にそれぞれ0.2m以上確保することが望ましい◆			

注意喚起 指・衣類のはさみ込み注意

※ 避難器具の設置基準上、下地補強（建築施工）が必要になる場合があります。